



わが社で力をつけた技術者が、 巣立っていくのが楽しみです

父親の経営していた金物店から、アルミサッシの建具設計製作施工会社へ業種を変え、大きな景気の波に打たれながらも、現在は技術力で受注を伸ばしている(株)松山。社長の松山伸一さんに話をうかがいました。

「最

広い工場で、お客様の要望に合わせたサッシを製作

初は上戸祭で創業したのですが、環状線ができることになり、現在の徳次郎町へ移転。その時に本社社屋も新築したのですが、それがバブル崩壊の時期と重なってしまい、苦勞しました」と振り返る松山社長。一時期はサッシメーカーとの手形取引も断られ、苦しい時代を過ごしたこともあったそうです。

「その時代に手形、小切手での支払いができなくなったこと

が、今の現金決済につながっているのですが、何が幸いするか分かりませんね」

建設業界では、現在も手形決済が主流ですが、同社ではほとんどの取引が現金決済であり、経営的にも大きなメリットがでているそうです。

もうひとつ、サッシメーカーとの取引が難しくなったことから、自社製造主体に変更したことからも、現在の同社の技術力を生んだ源でした。現在ではサッシ関連の施工業者は、メーカーの製品を取り付けることが多いのですが、(株)松山は図面から起こし、建築に合わせた特注品を製作して納品、取り



大手輸入車販売ショールームなどを手がける

付けをしています。もちろん、その後のメンテナンスも、同社でなくてはできません。



本社社屋

「私どもの技術力を見込んでの発注が多いので、こちらも努力しなければならず、それがよい結果につながっています」

技術力があるから難しい注文があり、難しい注文に因應するかさらに技術力が高まる——まさに、ものづくりの好循環と言えるでしょう。

現在は、自動車販売のショールームやレストラン、ホテルチェーンなどの仕事が多く、全国規模で走り回っている松山社長。アルミフロントサッシやスチールサッシ、ステンレスサッシなどの他に、最近ではスチールドアの受注も伸びているそうです。

「ようやく経営も安定してきたので、今後は社内で職人を育てていきたい。せっかく蓄積している技術ですから、きちんと次の世

代に伝えて独立させ、仲間を増やしていきたいと考えています」

松山社長は、社員に「失敗を恐れるな、失敗しろ」と言っています。失敗するからこそ、次の成功につながるという信念です。積極的な仕事をするからこそ、失敗も生まれるのだから、それを恐れずチャレンジしなさいと、松山社長は話します。

「数年前から、毎年1人ずつ社員を採用して、職人魂を持つ次世代の技術者を育てているんですよ」

松山社長は「ものづくり」を大切にしている企業として、栃木県内の受注も伸ばして行きたいと考えています。

「わが社に5年いれば、かなりの技術力が身につきます。ここで力をつけて、どんどん巣立ってほしいですね」

経営理念

技術と人を育てるものづくり企業

社訓

- 安全第一を心がける
- 納期は絶対に守る
- つねに最高の品質を提供する

Information

株式会社松山
代表取締役 松山 伸一
設立/昭和62年4月
所在地/宇都宮市徳次郎町29-8
☎ 028-665-7581
☎ 028-665-7591
http://www.hiyama-df.com

株式会社松山
代表取締役 松山 伸一氏

